

製品名: サイクリン D1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab03732**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 34 kDa; Observed MW: 34 kDa

抗原情報

遺伝子名	CCND1
別名	CCND1; BCL1; D11S287E; PRAD1; U21B31; Cyclin D1
遺伝子 ID	595
SwissProt ID	P24385
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

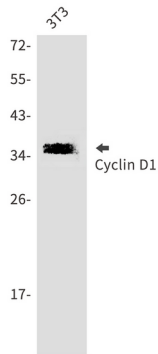
RB1 のリン酸化は、転写因子 E2F を RB/E2F 複合体から解離させ、G1 期の進行を担う E2F 標的遺伝子の転写を可能にする。G1 期初

期には RB1 を低リン酸化する。サイクリン D-CDK4 複合体は、様々な分裂促進性および分裂抑制性シグナルの主要な集積因子である。

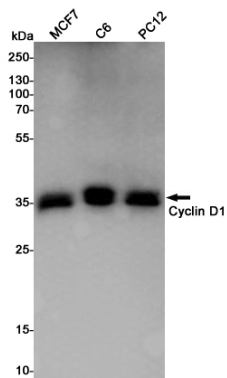
研究分野

細胞生物学

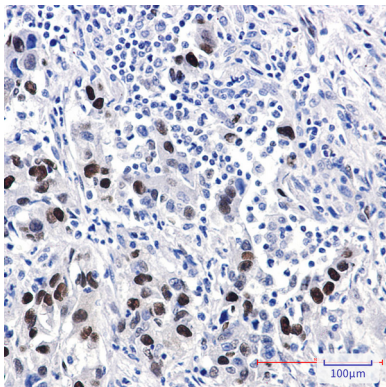
画像データ



サイクリン D1 抗体を使用した 3T3 溶解物中のサイクリン D1 のウェスタン ブロット分析。



サイクリン D1 抗体を使用した MCF-7、C6、PC-12 溶解物中のサイクリン D1 のウェスタン ブロット分析。



サイクリン D1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。